

学校評価シート（自己評価）

青 徳 幼稚園

1、園の教育目標

年長	園生活の習慣の中で身に付けるべき必要が態度の意味を理解し自主性と協調性をもって行動する
年中	保育者や友達との関わりの中で自分を発揮しいろいろな活動に意欲的に取り組む
年少	園生活の流れやルールを知り身のまわりの事を自分で行えるように保育者や友達と楽しく過ごす

2、具体的な目標や計画

集団の生活を通して人との関わりを深め自己を発揮する中で互いの思いを主張し折り合いをつける体験をし自分の気持ちを調整する力が育つようにする

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
遊びや活動を通して自然に目的を共有し協力するよう働きかける	A	時にほふっかり合う経験もしほから気持ちを伝え合う事の大切さを知らせていった
一人一人の特性に応じた指導を心掛ける	A	特に個別指導が必要と思われる幼児に関しては全職員が情報と共有指導にあたる
先生や友達と食べる事を楽しめるようにする	B	食欲が低い、咀嚼力が弱い、頻繁にこぼすといった問題が目立つようにした事をふまえ、和やかな雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わえるようにした
幼少の円滑な連携・接続をはかる	B	近隣の小学校4校と園便り、小学校便りを通してお互いの情報、行事等を把握できるようにした。又年長は交流活動を数回行い進級に向けての足がかりとした
健康な心と体と育て自ら健康な安全な生活をつくり出す力を養う	A	遊びを通して安全についての構えを身に付け危険な場所や事柄はとて分かり理解を深めるようにした。又避難訓練はとて通して緊急時に適切な行動がとれるようにした。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	幼児が自分の思いを伝え自信をもつ行動ができるのは保育者との信頼関係が基盤にある。 その事を常に念頭に置き子供達の良き理解者として保育に携わりたいかねほと思う。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
配慮が必要な子供への対応	家庭との連絡は密に行い、そのほか表現如何により誤解が生じる事もあること、その点の配慮も忘れず保護者に寄り添い子供の成長を見守っていきたい。
卒乳の連携の確立	年に数回行っていたが今年度はお互いの予定が合えば交流の機会を一度のみにしてまた、行事予定を確認しながら多くの機会をつくらせていきたい。
幼稚園と家庭が協力し合い食育に取り組む	やまほろと幼稚園それぞれ家庭それぞれからそれぞれ分野の所折にふれ保護者に食育の方針について説明し食習慣の大切さを理解してもらう努力をしていきたい。